



# 社内探訪記

株式会社エム・エス・アイ  
【発行日】平成23年09月01日  
【責任者】経営企画室 前盛直人  
[震災で変わったもの]

## 期待するルーキー紹介！



私は、昨年大学を卒業し、このエム・エス・アイに入社してから様々な社員教育を受けさせていただき、今ではすっかり職場にも慣れ充実した日々を送っております。学生の頃、日本語は十分話せることができると思っていたのですが、学生時代と社会人とは、比べ物にはなりません。専門用語を含め、業界に必要な日本語能力を更に高めることが今の私の課題と思っております

そのような意味からも当社では、技術的な研修、業務のスキルを上げていくための研修が用意されており、また高度な技術力を支えるのは人である限り、その人間力・人間性を豊かにしていくべく様々な人間教育もあります。毎日、朝まラジオ体操から始まり、朝礼や各グループのミーティング、週に一度の社内環境整備活動、年に数回実施される掃除に学ぶ研修や座禅・マナーアップ研修、決起大会や社内行事、クラブ活動やプロジェクト活動など人間力をアップしていくための、あるいは社員同士のコミュニケーションを育んでいくための様々な仕組みづくりが社内には整備されており、それに対して日々実践している当社。このような自分が成長できる環境に恵まれ、毎日が充実しています。私の夢は、日本で、そしてこの山形で働きながら日本と中国のパイプ役としてのシステムエンジニアになりたいと思っております。それが実現できるのは、この会社で働いているからこそ。私は私の夢を実現するためには、エム・エス・アイという会社に誇りを持ち続け、日々努力を積み重ね自分自身の器を大きくしていくことが重要と感じております。

サポート本部システム開発部 甘 麟 臻



## 就活インタビュー

学生就職支援を主たる業務とする某団体様からの取材の様子を抜粋してご紹介します。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



【質問】エム・エス・アイさんではどんな人材を求めているのですか？

をしていない就職生が実際に多いのが現状と捉えます。

〔前盛〕はい、当社では主体性を持ち、そして当社の価値観・考え方や理念・社風というのに対し深く共鳴し、明るく元気で積極的な人材を求めています。

【質問】御社では新卒者のほかに中途採用もされているということですが、中途採用者の魅力をどこに感じていますか？

〔前盛〕本来であれば、中途の場合、その経験や豊富な知識・力量というものに魅力を感じなければならぬところですが、それに沿うような人材が殆どいないといったところでしょうか。

【質問】なるほど。では、エム・エス・アイさんではどのような人材育成されているのですか？

〔前盛〕沢山ありますが、大きく分けると仕事力養成と人間力養成ということになります。実はこの2つは密接な関係にあります。仕事力の土台は人間力・人間性であるという考え方のもとで、豊かな人間性そして気付きと行動力こそが仕事力をしっかりと支えていくという捉え方で、様々な社員教育を日々行っております。

【質問】えっ、それはどういうことですか？

〔前盛〕確かに首都圏にはヘッドハンティングされるような優秀な方がおいでだろうと思います。しかし首都圏と云えどもそれは極僅か。地方では、殆どそういう人はいないと思っています。よく自分のスキルを高めるため転職を希望するという方が沢山いますが、

【質問】最近の学生についてどう思いますか？

〔前盛〕そうですね、一言でいうと自分の考えや意見をどのように表現してよいのか分からない学生が多いと感じますね。それは何も学生だけの問題ではなく、そのような形に導き、学生にとって親切丁寧過ぎる環境を作り出している企業社会の責任でもあると思っています。

〔前盛〕確かに首都圏にはヘッドハンティングされるような優秀な方がおいでだろうと思います。しかし首都圏と云えどもそれは極僅か。地方では、殆どそういう人はいないと思っています。よく自分のスキルを高めるため転職を希望するという方が沢山いますが、

【質問】もう少し詳しく教えてください。

〔前盛〕今の学生の就活を見ますと全てインターネットに依存しています。情報をインターネットで入手するのは結構ですが、色々な情報を入手した結果、その情報に対し深掘できない、つまり、ろくに業界・企業研究もしないで採用試験を受けるパターンが殆どです。それでは内定を勝ち得ることなどできません。就活をする上で基本的なすべき事

が、本当の理由はこれまでの職場に不満があり、仕事がいやになり転職するというのが大方です。スキルアップをするのに何故これまでの職場でそれをしようとせずに他の企業なのか。それまで自分はその職場でどんな努力をし、成果を挙げたのか。私は、「努力」と「ポジジョン」は比例すると思っています。したがって、4・5年働いただけで、転職して次の会社でスキルアップなどというのは釈然としません。ただ働いて安定的に給料を得ただけという人材は我社ばかりでなく、どんな企業も必要とはしていないと思っています。

〔前盛〕今、中国の人々が一番心配していることは、原発事故の問題です。中国が強くなくなったようです。しかし、私自身、と隣続きであるロシアで過去に大きな原発事故があり、一番変わったことは限りある資源を大切にすることと

【質問】中途採用の場合は新卒者と違って難しいのですか。今日はありがとうございました。

〔前盛〕ありがとうございました。

## 外国人社員から見た日本「震災で自分の何が変わったか？」

私は、いや、多くの中国の人々は日本の力を信じていると思います。震災は日本の経済にも大きな影響を与えました。私自身、震災後、中国に一時帰国しましたが、両親が私よりも心配した表情で出迎えたことが印象的でした。中国国内で報道される3月11日の大震災 震災や原発事故を見聞きし、多くの中国の人々とは大きな不安を抱き後一旦、故郷の中国につつも、日本人が懸命に震災に立ち向かっていく姿に、そして一時帰国しました。中国でも大震災で互いに協力し合いながら避難生活を送っている多くの人々に感動しました。



サポート本部システム部 張 志 強

今、中国の人々が一番心配していることは、原発事故の問題です。中国が強くなくなったようです。しかし、私自身、と隣続きであるロシアで過去に大きな原発事故があり、一番変わったことは限りある資源を大切にすることと



サポート本部システム開発部 甘 麟 臻

私は、震災当日、地震こそまだ驚きはしませんでした。テレビから流れて来る映像を見て驚愕しました。日本に戻ってから、自分も含め周囲の人々は防災意識が強くなったようです。しかし、私自身、と隣続きであるロシアで過去に大きな原発事故があり、一番変わったことは限りある資源を大切にすることと

## 震災から半年の節目を迎えるにあたり

東日本大地震が発生して以来、今月の11日にちょうど半年となり、日本各地でお自悼の行事があらちちで行われるものと思います。半年も過ぎたのだから震災の話もう。なんていう方もおいでかも知れません。しかし、日本人として我々は絶対に風化させてはならない大事なことだろうと思います。まだまだ震災も原発事故も終わったわけではありません。本日の大変さはこれからだろうと捉えております。「社内探訪記」では当社のいろいろな行事案内やイベント内容と併せて、機会あるごとく「震災」と関連したテーマを設け発信してまいります。東北に住み、東北の地で事業活動を行い、東北のいろいろな方々からお世話になっている以上、続けてまいります。次回発行は9月中旬の予定です。



経営企画室 室長 前盛直人



経営企画室 室長 前盛直人